**第２学年１組　道徳学習指導案**

**1 主題名**たいせつにつかうこころ〔内容項目1―（1）〕

**2 資料名**ノートのひこうき（出典：学研）

**3 本時の学習指導**

（1）ねらい　物を大切にし、上手に使おうとする態度を養う。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| 1 身の回りにある、いつも使っているものを発表することで、学習への意欲を高める。  2 資料を読み、ノートの紙の気持ちの変化を話し合う。  　場面1  ゆきおくんに買われて、使われ始めたノートの紙  場面2  破られて飛行機に折られ、飛ばされてしまったノートの紙  場面3  校庭のすみでどろんこになったノートの紙    3 学習のまとめをする。 | ○みんなの周りにはどんなものがありますか。  ・鉛筆  ・教科書  ・ノート  ・机  ・ロッカー  ○みんなはものを大切に使っていますか。  ・時々落としちゃう。  ・三角定規をなくしちゃった。  ・ノートを最後まで使っている。  ○ノートの紙の気持ちを想像して話を聞くように声をかける。  ○ゆきおくんが丁寧に字を書いてくれていた時、ノートの紙はどんな気持ちだったでしょう。  ・大切に使ってくれて嬉しい。  ・ゆきおくんが買ってくれて良かった。  ・勉強がんばれ。  ○破られて飛行機に折られ、飛ばされてしまった時、ノートの紙はどんな気持ちだったでしょう。  ・破られて痛い。  ・最後まで丁寧に使ってほしかった。  ○校庭のすみでどろんこになったノートの紙はどんな気持ちだったでしょう。  ・どろんこになっちゃった。  ・さみしい。  ・算数のノートだったのに。  ・これからどうなるんだろう。  ○身の回りのものに対して、これからどのように使っていくのか、お手紙を書きましょう。 | ○身の回りにあるものを挙げさせ、たくさんのものに囲まれていることを意識できるようにする。  ○ものを大切に使っているかを考えられるような発問をし、身の回りのものに対する自分の意識を自覚できるようにする。  ○書画カメラに、教科書のカラーコピーを写しながら教科書を読む。  ○ノートの紙の気持ちを想像して話を聞くように声をかける。  ○挿絵の表情にも注目し、丁寧に使われて嬉しいというノートの紙の気持ちをおさえられるようにする  ○ゆきおの乱暴な扱いに裏切られた思いのノートの気持ちに共感するようにする。  ○本来の使い方をされていないことに気がつけるようにする。  ○ものをひとつ決め、手紙を書くことで、これまでのものの扱い方を振り返り、これからどのように大切にしていくのかを具体的に考えられるようにする。  ○よく書けている児童を指名し、全体で共有するようにする。 | 5  30  10 |

**4 備考**　在籍児童数　35名

**5 板書計画**

みのまわりにあるもの

・えんぴつ・ノート

・教科書　・つくえ

ノートのひこうき

・たいせつにつかってくれてうれしい。

　　　　　　　・

・やぶられていたい。

・

・さみしい。

・これからどうなって

しまうのだろう。

・

自分のみのまわりのものをひとつえらんで、お手紙を書こう。